

東京のカラス問題を解決するために

基本的視点

対策の方向

独自の生態系を持っている大都市・東京の中で、カラスの急激な増加により、カラス以外の野鳥などの生態も影響を受けています

一方、今、カラスの増加により、威かくな攻撃、生ごみの食い散らかしなど身近なところでカラスによる様々な被害が生じています



人からカラスへの影響を取り除く 人由来のエサを断つ
被害の除去、他地域・弱小野生動物への影響回避
迷惑カラスの駆除

都市部におけるカラスを含めた野生動物との共存

都市部におけるカラスの
数を適切に管理する

緊急対策

半年程度で東京のカラス被害を減少させます

(具体的には、東京のカラスを数千羽減少させます)

内容：トラップによる捕獲(都施設から設置)

夜間収集・ごみ集積所の工夫等の提言

検証：生息数等調査の実施

期間：平成13年11月から平成14年3月まで

中期対策

3年程度で東京のカラスの生息数を適切な規模にします

内容：トラップによる捕獲(設置箇所の拡大)等

夜間収集・ごみ集積所の工夫等の実施

検証：生息数等調査の継続

期間：平成14年4月から3年程度

方法

カラスを捕獲する

- 1 トラップによる捕獲 捕獲トラップ = 年間を通した捕獲
- 2 巣の撤去による捕獲 繁殖期に実施
- 3 複合的な捕獲の実施 トラップ、巣の撤去、ごみ対策との連携

エサを断つ

- 1 エサを取らせない 収集方法の改善(夜間収集や戸別収集)
ごみ集積所の工夫(ネットや防除グッズの普及)
- 2 ごみを減らす 生ごみの総量の減量・生ごみのリサイクル推進
- 3 エサをやらない 「エサやり禁止条例」などの検討

協力

カラスに関する調査

カラスの生息数、動物由来感染症等
積極的な情報発信

着実な実施のための仕掛け

都民への呼びかけ

区市町村への協力の働きかけ
近県等への協力の働きかけ